

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表【浦安キャンパス】

授業科目名 (単位数)	担当教員名	開講学科	教育内容との関連
キャリアプランニングⅠ (2単位)	大黒章子 国井明範 下地信也 中井弘晃 門田薫	日本語 英米語 中国語 経済 不動産 ホスピタリティ・ツーリズム 口腔保健	一般企業での就業経験があり、キャリアカウンセラー等の資格を有する教員が、実務経験を活かし、ジェネリックスキル(対人基礎力と対自己基礎力)の伸長を目的として、グループディスカッションや体験学習による主体的な学習を実践している。
キャリアプランニングⅡ (2単位)	大黒章子 国井明範 下地信也 中井弘晃 門田薫	日本語 英米語 中国語 経済 不動産 ホスピタリティ・ツーリズム 口腔保健	一般企業での就業経験があり、キャリアカウンセラー等の資格を有する教員が、実務経験を活かし、ジェネリックスキル(対課題基礎力と対自己基礎力)の伸長を目的として、問題解決学習を実践している。
キャリアプランニングⅢ (2単位)	大黒章子 国井明範 下地信也 中井弘晃 門田薫	日本語 英米語 中国語 経済 不動産 ホスピタリティ・ツーリズム 口腔保健	一般企業での就業経験があり、キャリアカウンセラー等の資格を有する教員が、実務経験を活かし、ジェネリックスキル(対課題基礎力と対自己基礎力)の伸長を目的として、調査学習を実践している。
キャリアデザイン (4単位)	国井明範 下地信也 中井弘晃 門田薫	日本語 英米語 中国語 経済 不動産 ホスピタリティ・ツーリズム 口腔保健	一般企業での就業経験があり、キャリアカウンセラー等の資格を有する教員が、実務経験を活かし、就職活動において主体的に行動できることを目的として、情報の収集や分析、計画立案及び振り返り等、就職活動に活用できる知識を与えている。
資本市場の役割と証券投資 (2単位)	新井啓 野村證券株式会社 派遣講師 (オムニバス)	日本語 英米語 中国語 経済 不動産 ホスピタリティ・ツーリズム	野村證券株式会社派遣講師が本授業を通じ資本市場と証券投資に関する知識を与えている。
証券投資シミュレーション (2単位)	新井啓 伊東尚憲	日本語 英米語 中国語 経済 不動産 ホスピタリティ・ツーリズム	一般企業での就業経験及び三井住友トラスト基礎研究所研究員である教員が、教科書の中の知識だけでは身につけることのできない、生(ナマ)の経済に触れさせながら、証券投資に関する知識を与えている。
口腔保健学概論 (2単位)	金久弥生 宮澤慶	口腔保健	歯科衛生士1名、歯科医師1名の2名がこれまでの実務経験を活かし口腔保健学の実践的な知識を与える。
歯科診療補助論Ⅰ (2単位)	奥村泰彦 星合愛子	口腔保健	歯科医師1名、歯科衛生士1名の2名がこれまでの実務経験を活かし歯科診療補助の実践的な知識を与える。

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

大黒 章子 (おおくろ あきこ)・国井 昭範 (くにい あきのり)・下地 信也 (しもじ しんや)・中井 弘晃 (なかい ひろあき)・門田 薫 (かど まこと)

■ 授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの成長を目指す授業である。一般企業での就業経験があり、キャリアカウンセラーの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、グループワークを通じて主体的な学習に導く。この授業では、特に建設的に議論する力の伸長と就業観の醸成に焦点をあてる。この授業の特徴は、①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気づきで学ぶことである。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

■ 到達目標

一般目標：①ジェネリックスキル(対人基礎力、對自己基礎力、対課題基礎力)の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

②就業観を醸成するために自分の進路における選択肢となり得る職業や仕事について理解を深める。

個別目標：【社会人インタビューと職業カード】目的を理解し自分の将来像を意識してインタビューできる、将来を見据え大学生活で取り組む活動を探り実践できる【自己理解】自分の強みを文章で伝えることができる、ジェネリックスキルを理解し自己評価できる【グループディスカッション】自分の意見を躊躇せず明確に述べ他者の意見を受容的に聞くことができる、他者と協同し結論を導くことができる

■ 履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上、「社会」を基準とした授業ルールを採用している。詳細については初回授業で説明するため、必ず出席し理解した上で授業に臨むこと。

■ 評価基準・方法

授業内における参加姿勢および発言：35%、期末試験：30%、課題(社会人インタビュー、職業カード、自己PR)の提出と内容：20%、MEIKAI SPI の活用及び模擬試験：10%、クラスやグループでの役割：5% チャイムが鳴り終わった直後より遅刻扱いとし授業開始後10分を越えたら欠席となる。遅刻および早退2回で欠席1回とみなし、原則として交通機関の遅延は認めない。その他、詳細は初回授業で説明するため、必ず出席し理解した上で授業に臨むこと。

■ 教科書

オリジナル教材を使用。教材費¥3,000(自己負担)分の証紙を購入し提出。教材費の内訳や提出先、提出期限については初回授業で確認のこと。

■ 参考書

授業内で随時紹介する。

■ 授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：オリエンテーション(授業の目的やルール・評価方法の理解、主体的な学びの意識付け、MEIKAI SPI の説明) 事前学修 1.0hr：シラバスを読んで理解し、特に授業ルールについて留意し、行動のイメージをする。 事後学修 3.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する。MEIKAI SPI の演習に取り組む。
2 回	授業内容：大福帳(振り返り)と MEIKAI SPI の目的や必要性を理解する 事前学修 2.0hr：第1回の資料を読み直し理解しておく、自分なりの目標行動を考えておく 事後学修 3.5hr：MEIKAI SPI を使い練習問題等に取り組む。
3 回	授業内容：対人基礎力、對自己基礎力、対課題基礎力の現状把握と目標設定 事前学修 2.0hr：社会人基礎力やジェネリックスキルについてインターネットを使い検索してくる 事後学修 4.0hr：授業内で考えた行動について具体的な計画を立てる
4 回	授業内容：社会人インタビュー①の計画立案 事前学修 3.0hr：社会人にインタビューした記事や動画など、情報収集しておく 事後学修 3.5hr：授業のワークで学習した内容を振り返る。社会人インタビューの計画をより具体的にしておく。
5 回	授業内容：「働く」ことについて考える 事前学修 3.0hr：就職ジャーナルやスタディサプリを見ておく 事後学修 3.0hr：ワークを参考に就職ジャーナルやスタディサプリの記事を読む
6 回	授業内容：自分の強みを知る 事前学修 2.0hr：自分の強みと弱みを書き出しておく 事後学修 2.5hr：自分の強みを裏付けるエピソードを挙げておく
7 回	授業内容：自分を伝える 事前学修 4.0hr：自分の強みを明確にし裏付けるエピソードを準備しておく 事後学修 2.5hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章化する
8 回	授業内容：自己PR作成 事前学修 2.5hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章化し推敲する 事後学修 2.5hr：自分で書いた自己PRを読み直し改善する
9 回	授業内容：社会人インタビューの共有と振り返り 事前学修 4.0hr：社会人インタビューの実施と見直し 事後学修 2.0hr：社会人インタビューの共有で収集した情報を整理する
10 回	授業内容：職業理解①(職業カードの作成) 事前学修 2.5hr：インタビューした社会人の職業をインターネット等で調べておく 事後学修 2.0hr：職業カードを完成させておく
11 回	授業内容：職業理解②(職業カードの共有) 事前学修 2.0hr：完成させた職業カードの発表準備をする 事後学修 2.0hr：将来就きたい職業をインターネットで調べる(複数)
12 回	授業内容：ディスカッション実践①(ポイントと流れを理解する) 事前学修 2.5hr：グループディスカッションについてインターネット等で調べておく 事後学修 2.0hr：ディスカッションを振り返りポイントと流れを復習する
13 回	授業内容：ディスカッション実践②(コンセプトを意識してディスカッションする) 事前学修 2.0hr：コンセプトについて調べておく 事後学修 2.0hr：ディスカッションを振り返りコンセプトを復習する
14 回	授業内容：ディスカッション実践③(ブレインストーミングと KJ 法を活用する) 事前学修 2.0hr：ブレインストーミングと KJ 法を調べておく 事後学修 2.5hr：ディスカッションを振り返りブレインストーミングと KJ 法を復習する
15 回	授業内容：授業と目標を振り返る 事前学修 3.0hr：ジェネリックスキルを復習し自分の行動目標を振り返る 事後学修 3.0hr：今回の振り返りを基に、春季休暇に取り組むことをより具体的に実践する

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

大黒 章子 (おおくろ あきこ)・国井 昭範 (くにい あきのり)・下地 信也 (しもじ しんや)・中井 弘晃 (なかい ひろあき)・門田 薫 (もん でん かおる)

■ 授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの成長を目指す授業である。一般企業での就業経験があり、キャリアカウンセラーの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、グループワークを通じて主体的な学習に導く。この授業では、企業の研究に着目し、自主的に活用できるようチームで修練する。この授業の特徴は、①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶことである。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるために、MEIKAI SPI を活用する。

■ 到達目標

一般目標：①チーム活動で「協働する」体験を通じて、ジェネリックスキル (対人基礎力、對自己基礎力、対課題基礎力) をさらに伸ばしていく。
②企業や仕事を研究する視点を理解し、自主的に活用できるようにする。

個別目標：【チーム活動】聴き手に配慮しわかりやすく理由や背景を含めて発言できる、確認や質問により相手の意見を正しく理解する、相手の状態に気付くことができる、プレゼンテーションスキルを活用できる【自己理解】自分の強みを裏付ける出来事を文章と口頭で伝えることができる、自分のジェネリックスキルを客観的に評価できる、1 年次より明確で具体的な行動目標を立て目指すことができる

■ 履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上、「社会」を基準とした授業ルールを採用している。詳細については初回授業で説明するため、必ず出席し理解した上で授業に臨むこと。

■ 評価基準・方法

授業内における参加姿勢および発言：35%、期末試験：30%、課題 3 点の提出と内容：20%、MEIKAI SPI の活用及び模擬試験：10%、クラスやグループでの役割：5% チャームが鳴り終わった直後より遅刻扱いとし、授業開始後10分を越えたら欠席となる。遅刻および早退2回で欠席1回とみなし、原則として交通機関の遅延は認めない。その他、詳細は初回授業で説明するため、必ず出席し理解した上で授業に臨むこと。

■ 教科書

オリジナル教材を使用。教材費¥3,000 (自己負担) 分の証紙を購入し提出。教材費の内訳や提出先、提出期限については、初回授業の説明で確認のこと。

■ 参考書

授業の中で随時紹介する。

■ 授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：オリエンテーション (授業の目的や目標、評価方法・受講ルールを理解する) 事前学修 1.0hr：シラバスを読み、授業の概要や評価について理解しておく 事後学修 2.0hr：シラバス・受講ルールと評価方法の資料を読み直し理解しておく
2 回	授業内容：行動目標設定 (なりたい自分の「将来」をイメージし伸ばしたいチカラと 伸ばすための行動を考える)、自己 PR 修正 事前学修 3.0hr：1 年生で受験した PROG の結果報告書と強化書を読み、今後伸ばしたい基礎力を検討しておく 事後学修 2.0hr：設定した目標の具体的な行動を確認し、改善した自己 PR を第三者に読んでもらいアドバイスを得ておく
3 回	授業内容：業界・企業理解 (サービスや商品を通じて関わる企業や業界を理解する) 事前学修 2.5hr：業界に関する情報をインターネットや専門の雑誌 (業界地図等) で確認しておく 事後学修 2.5hr：授業で学習した業界や企業について復習し、同様の方法で他の業界・企業を理解する
4 回	授業内容：プレゼンテーションを学ぶ 事前学修 2.0hr：授業で学習した業界や企業について復習し、同様の方法で他の業界・企業を理解する 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの動画を探索し手本として理解する
5 回	授業内容：フレームワークによる企業・仕事分析① (フレームワーク理解) 事前学修 1.5hr：フレームワークをインターネットで検索し情報収集する 事後学修 3.0hr：授業の資料を活用しフレームワークを理解する
6 回	授業内容：フレームワークによる企業・仕事分析② (3C・4P 分析演習) 事前学修 3.0hr：授業の資料を活用しフレームワークを理解する 事後学修 3.0hr：授業の資料を活用しフレームワークを理解する
7 回	授業内容：フレームワークによる企業・仕事分析③ (経営分析の視点理解) 事前学修 3.0hr：授業の資料を活用し経営分析を理解する 事後学修 3.0hr：インターネットで経営分析の視点を検索する
8 回	授業内容：フレームワークによる企業・仕事分析④ (経営分析の視点で比較) 事前学修 3.0hr：インターネットで経営分析の視点を検索する 事後学修 3.0hr：授業の資料を活用し経営分析の視点で比較する方法を理解する
9 回	授業内容：チーム活動① (チームビルディングと担当企業決め) 事前学修 1.5hr：フレームワークで企業分析する授業を振り返っておく 事後学修 2.5hr：担当企業の情報収集と分析
10 回	授業内容：チーム活動② (担当企業の情報収集と分析、プレゼンテーション準備) 事前学修 2.5hr：担当企業の情報収集と分析 事後学修 2.5hr：担当企業の情報収集と分析
11 回	授業内容：チーム活動③ (担当企業の情報収集と分析、プレゼンテーション準備) 事前学修 2.5hr：担当企業の情報収集と分析 事後学修 2.5hr：担当企業の情報収集と分析、プレゼンテーション準備
12 回	授業内容：チーム活動④ (プレゼンテーションと相互評価) 事前学修 2.5hr：担当企業のプレゼンテーション準備、評価ポイントを理解する 事後学修 2.5hr：担当企業のプレゼンテーション準備、評価ポイントを理解する
13 回	授業内容：チーム活動⑤ (プレゼンテーションと相互評価) 事前学修 2.5hr：担当企業のプレゼンテーション準備、評価ポイントを理解する 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション準備、評価ポイントの確認
14 回	授業内容：チーム活動⑥ (代表チームプレゼンテーション、相互評価) 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション準備、評価ポイントの確認 事後学修 2.0hr：チーム活動のリフレクション
15 回	授業内容：目標の振り返りと夏休みの行動計画立案 事前学修 2.0hr：授業を振り返り、目標とチーム活動について言語化しておく 事後学修 4.0hr：夏休みの行動計画を実践する

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

大黒 章子 (おおくろ あきこ)・国井 昭範 (くにい あきのり)・下地 信也 (しもじ しんや)・中井 弘晃 (なかい ひろあき)・門田 薫 (もん でん かおる)

■ 授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの成長を目指す授業である。一般企業での就業経験があり、キャリアカウンセラーの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、グループワークを通じて主体的な学習に導く。この授業では、企業の研究に着目し、自主的に活用できるようチームで修練する。この授業では、チームで「企業の人事担当として求人広告を考えプレゼンテーションする」という課題に取り組み、就職活動につなげる。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるために、MEIKAI SPI を活用する。

■ 到達目標

一般目標：①社会で求められるレベルを理解しジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)をさらに伸ばす。②企業研究の観点を理解し、進路選択活動において活用できるようにする。③プレゼンテーションに必要なスキルを知り、チームで磨き合い向上させる。

個別目標：【チーム活動】自分の意見を結論から伝えられる、相手の反応を読み取りそれに対応して話すことができる、相手に GoodPoint と MottoPoint を伝えられる、相手の状態に気付き発言が少ない人に促す等の気遣いができる、教員の指示を待たずに主体的に活動を進められる【自己理解】完成度の高い自己 PR を作成できる、自分のジェネリックスキルを客観的に評価し明確で具体的な行動目標を立て目指すことができる

■ 履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上、「社会」を基準とした授業ルールを採用している。詳細については初回授業で説明するため、必ず出席し理解した上で授業に臨むこと。

■ 評価基準・方法

授業内における参加姿勢および発言：35%、期末試験：30%、課題 3 点の提出と内容：20%、MEIKAI SPI の活用及び模擬試験：10%、クラスやグループでの役割：5% チャームが鳴り終わった直後より遅刻扱いとし、授業開始後10分を越えたら欠席となる。遅刻および早退2回で欠席1回とみなし、原則として交通機関の遅延は認めない。その他、詳細は初回授業で説明するため、必ず出席し理解した上で授業に臨むこと。

■ 教科書

オリジナル教材を使用。教材費¥3,000(自己負担)分の証紙を購入し提出。教材費の内訳や提出先、提出期限については、初回授業の説明で確認すること。

■ 参考書

授業内で随時紹介する。

■ 授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：オリエンテーション(授業の目的・受講ルール・評価方法の理解、社会で求められる力の理解) 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：シラバスと受講ルール・評価方法を読み正しく理解する
2 回	授業内容：対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力の現状把握と目標設定 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅡの目標を振り返り、キャリアプランニングⅢでの目標を考えておく 事後学修 2.5hr：インターネットを活用し、求人情報を探索する
3 回	授業内容：求人広告理解 事前学修 2.5hr：インターネットを活用し、求人情報を探索する 事後学修 4.0hr：例題企業のホームページを見て理解する
4 回	授業内容：フレームワークによる企業理解 事前学修 4.0hr：例題企業のホームページを見て理解する 事後学修 3.5hr：例題企業の就活サイトのページを読み理解する
5 回	授業内容：求める人物像理解 事前学修 3.0hr：例題企業の就活サイトのページを読み理解する 事後学修 2.0hr：複数企業の求める人物像を探索する
6 回	授業内容：求人広告作成 事前学修 2.0hr：複数企業の求める人物像を探索する 事後学修 2.0hr：求人広告のポイントに基づくリフレクション
7 回	授業内容：チーム活動(チームビルディングと自社とする企業決めおよび情報収集) 事前学修 2.0hr：自社とする企業の情報収集と分析 事後学修 4.0hr：自社とする企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備
8 回	授業内容：チーム活動(情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備) 事前学修 4.0hr：自社とする企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備 事後学修 4.0hr：自社とする企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備
9 回	授業内容：チーム活動(情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備) 事前学修 4.0hr：自社とする企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備 事後学修 3.0hr：自社とする企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備
10 回	授業内容：チーム活動(情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備) 事前学修 3.0hr：自社とする企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備 事後学修 3.0hr：自社とする企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備
11 回	授業内容：チーム活動(情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備) 事前学修 3.0hr：自社とする企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備 事後学修 3.0hr：自社とする企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備
12 回	授業内容：チーム活動(プレゼンテーションと相互評価) 事前学修 3.0hr：プレゼンテーションの準備を完了しておく 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションを振り返り改善点を明確にする
13 回	授業内容：チーム活動(プレゼンテーションと相互評価)、振り返り 事前学修 3.0hr：プレゼンテーションの評価について復習しておく 事後学修 4.0hr：チーム活動の振り返りをしておく
14 回	授業内容：代表チームプレゼンテーションと相互評価 事前学修 4.0hr：チーム活動の振り返りをしておく 事後学修 2.0hr：チーム活動の学びの活用を考える
15 回	授業内容：ジェネリックスキルと行動目標の振り返り 事前学修 2.0hr：行動目標の振り返りをし言語化する 事後学修 4.0hr：春休みの行動計画を立て実践する

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 3 年次 | 4 単位 | 開講期：通

国井 昭範 (くにい あきのり)・下地 信也 (しもじ しんや)・中井 弘晃 (なかい ひろあき)・門田 薫 (もんてん かおる)

■ 授業の概要

一般企業での就業経験があり、キャリアカウンセラー等の資格を有する教員が、実務経験を活かし就職活動において主体的に行動できることを目的として、就職活動に必要な知識を与える。MGO の掲げる「一人ひとりが自分らしいキャリアをつかむ」につながる、納得のいく進路決定のために就職活動の準備をする。事前準備（企業・仕事研究、自己 PR・志望動機作成）と実践トレーニング及び振り返りにより、改善（PDCA サイクル）を重ね就活力を伸ばす。※注意事項：採用環境を見据えて授業を進めるため、授業内容が変更になる可能性がある。その場合、授業で広報するので、留意しておくこと。

■ 到達目標

一般目標：この授業の目的は、就職活動を乗り切り社会で活躍する人材となるために必要な力とスキルを伸ばすことである。キャリアデザインでは、就職活動準備を就職スキルの上昇に焦点をあてる。また、日頃から意識できるよう「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

個別目標：【企業・仕事研究】キャリアプランニングの学修を活用し、就職活動における企業選択に十分な情報収集・分析をする【自己 PR】自分の強みと裏付けるエピソードを選考通過レベルで準備する【志望動機】企業・仕事研究で得た情報と自己 PR をつなげ、入社後どう貢献できるかを伝えられる準備をする【グループディスカッション】選考通過レベルのスキルを身に付ける【インターンシップ】早期インターンシップに全員参加（最低 3 社）

■ 履修条件

2 年生修了時に、60 単位以上取得していること（就職活動にある程度の時間が割ける状態）が望ましい。

■ 評価基準・方法

前・後学期各 15 回の授業で各 13 回（合計 26 回）の出席を評価の前提条件とする。遅刻欠席については、キャリアプランニングに準ずる。なお、就職活動に関わる欠席・遅刻・早退は考慮する。授業参加態度に加えて以下4点を満たすことで単位認定とする。①インターンシップの参加（社数指定あり）②指定のコーチ支援参加③ OBOG セミナー参加④ MEIKAI SPI の実施。その他、詳細は初回授業で説明するため、必ず出席理解した上で授業に臨むこと。

■ 教科書

オリジナル教材（自己分析・適職発見テスト、強み診断テストを含む）を使用。教材費 ¥9,000（自己負担）分の証紙を購入し提出。教材費の内訳や提出先、提出期限については、初回授業の説明で確認すること。

■ 参考書

授業内で随時紹介する。

■ 授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：オリエンテーション（履修登録のルールを理解し正しく手続きする） 事前学修 1.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 3.0hr：資料を読み返し、正しく履修登録の手続きをする	16 回	授業内容：夏季インターンシップを振り返る 事前学修 2.0hr：後学期スケジュール・目標を確認する 事後学修 4.0hr：授業で確認した改善点の具体的な行動を考え決める
2 回	授業内容：就職活動において必要なことを理解する 事前学修 2.0hr：就職活動の流れについて調べておく 事後学修 2.5hr：2020 卒用の就活サイトで企業情報を見ておく	17 回	授業内容：自己 PR 作成 事前学修 4.0hr：夏季インターンシップを振り返りエピソードとしてまとめる 事後学修 3.0hr：夏季インターンシップのエピソードを仕上げる
3 回	授業内容：企業・仕事研究①（キャリアプランニングⅢの視点で情報収集） 事前学修 2.0hr：2020 卒用の就活サイトで企業情報を見ておく 事後学修 4.0hr：担当企業について企業と仕事の情報収集・分析しておく	18 回	授業内容：就活スキルトレーニング① 事前学修 2.5hr：グループディスカッションのテーマについて調べる 事後学修 3.0hr：自分の改善点を確認し、具体的な行動を考えておく
4 回	授業内容：企業・仕事研究②（キャリアプランニングⅢの視点で情報分析） 事前学修 4.0hr：担当企業について企業と仕事の情報収集しておく 事後学修 4.0hr：担当企業について企業と仕事の情報分析し発表の準備をする	19 回	授業内容：仕事研究セミナー準備①情報収集編 事前学修 3.0hr：インターネットを活用し、業界・企業について情報収集する 事後学修 4.0hr：仕事研究セミナー参加企業のホームページを理解する
5 回	授業内容：企業・仕事研究③（情報収集・分析したものを発表） 事前学修 4.0hr：担当企業について企業と仕事の情報分析し発表の準備をする 事後学修 3.0hr：第 5 回授業で共有した情報を基に企業・仕事研究する	20 回	授業内容：仕事研究セミナー準備②情報共有編 事前学修 4.0hr：仕事研究セミナー参加企業の情報を伝えられるようにしておく 事後学修 3.0hr：仕事研究セミナー参加企業に対する想定質問を準備する
6 回	授業内容：自己理解①（R-CAP の結果から自分を理解する） 事前学修 3.0hr：第 5 回授業で共有した情報を基に企業・仕事研究する 事後学修 2.5hr：R-CAP 結果を読み理解を深めておく	21 回	授業内容：仕事研究セミナー発展 事前学修 4.0hr：仕事研究セミナーの振り返りを発表できるよう準備する 事後学修 4.0hr：仕事研究セミナーで得た情報や知識を活用し業界・企業研究する
7 回	授業内容：自己理解②（R-CAP の結果を活用し就活の軸を探索する） 事前学修 2.5hr：R-CAP 結果を読み理解を深めておく 事後学修 3.0hr：JOB カタログの該当するページを読み理解しておく	22 回	授業内容：OBOG セミナー参加企業の情報収集・分析 事前学修 3.0hr：参加する秋・冬季インターンシップを複数決める 事後学修 2.5hr：OBOG セミナーに参加する企業について調べる
8 回	授業内容：自己理解③（R-CAP の結果を活用し就活の軸を探索する） 事前学修 3.0hr：JOB カタログの該当するページを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：授業のワークシートと R-CAP の結果をよく読んでおく	23 回	授業内容：OBOG セミナーリハーサル 事前学修 4.0hr：OBOG セミナーに参加する企業について調べる 事後学修 2.5hr：OBOG セミナーにふさわしい身だしなみ準備
9 回	授業内容：自己理解④（強みと裏付けるエピソードを言葉にする） 事前学修 2.0hr：授業のワークシートと R-CAP の結果をよく読んでおく 事後学修 4.0hr：強みエピソードを仕上げる、インターンシップの情報収集	24 回	授業内容：OBOG セミナー参加 事前学修 2.5hr：身だしなみ・企業研究準備 事後学修 3.0hr：OBOG セミナーで聴いたことを振り返る
10 回	授業内容：インターンシップ準備①（インターンシップの情報収集・分析） 事前学修 4.0hr：強みエピソードを仕上げる、インターンシップの情報収集 事後学修 3.0hr：インターンシップの情報をさらに調べる	25 回	授業内容：OBOG セミナーを振り返り 事前学修 3.0hr：OBOG セミナーで聴いたことを振り返る 事後学修 3.0hr：企業や仕事について知りたいことを整理しておく
11 回	授業内容：インターンシップ準備②（応募するインターンシップを数社決める） 事前学修 3.0hr：インターンシップの情報をさらに調べる 事後学修 3.5hr：インターンシップの応募先を探す	26 回	授業内容：応募書類作成（志望動機編） 事前学修 3.0hr：自己 PR を仕上げる 事後学修 3.0hr：志望動機を仕上げる、先輩への質問を準備する
12 回	授業内容：インターンシップ準備③（応募のための自己 PR 作成） 事前学修 3.5hr：インターンシップの応募先を探す 事後学修 4.0hr：応募のための自己 PR を仕上げる	27 回	授業内容：先輩に学ぶ（内定した 4 年生に就職活動について学ぶ） 事前学修 3.0hr：志望動機を仕上げる、先輩への質問を準備する 事後学修 3.0hr：自分の就職活動を見直し準備する
13 回	授業内容：インターンシップ準備④（応募のための志望動機作成） 事前学修 4.0hr：応募のための自己 PR を仕上げる 事後学修 4.0hr：応募のための志望動機を仕上げる	28 回	授業内容：就活スキルトレーニング② 事前学修 2.5hr：自分の就職活動の進捗を整理して伝えられる準備をする 事後学修 3.0hr：授業で明確になった面接における自分の課題に対する準備をする
14 回	授業内容：先輩（内定した 4 年生）に学ぶ 事前学修 4.0hr：応募のための志望動機を仕上げる 事後学修 3.0hr：夏休みの行動計画を具体的に考える	29 回	授業内容：就活スキルトレーニング③ 事前学修 3.0hr：応募書類、面接における自分の課題に対する準備をする 事後学修 3.0hr：就職活動における選考準備を進める
15 回	授業内容：夏休みの行動計画立案 事前学修 3.0hr：夏休みの行動計画を具体的に考える 事後学修 3.0hr：夏休みの行動計画を実施するための準備	30 回	授業内容：就職活動振り返り 事前学修 3.0hr：就職活動の進捗を整理し、伝えられるように準備する 事後学修 3.0hr：授業で明確になった現状を見直し今後の計画を再確認する

資本市場の役割と証券投資

開講学科等：日英中経不 HT | 2年次 | 2単位 | 開講期：前 | 備考：野村証券ファイナンスプログラム

新井 啓 (あらい けい) ・野村証券株式会社派遣講師

■ 授業の概要

野村証券株式会社派遣講師が本授業を通じ、資本市場と証券投資に関する知識を与えている。長期にわたる超低金利、確定拠出年金制度の導入、ペイオフ実施及び雇用不安等、我々の日常生活を取り巻く環境が著しく変化している中、自己責任の原則の下、一般生活者・消費者或いは貯蓄・投資者として賢くふるまうためには、ファイナンスに関する実践的な知識が必要不可欠となってきている。このような社会情勢等を鑑み、明海大学と野村証券株式会社が、活力ある社会と経済を形成していくための人材を育成する社会的使命を共有しつつ、広く人類・社会のより豊かな発展に寄与するため、「野村証券ファイナンスプログラム」を開設し、資本市場と証券投資に関して実践的に学んでいくものである。

■ 到達目標

一般目標：・経済ニュースがわかるようになる。

- ・自分で投資できる力が身につく。
- ・社会人基礎力が身につく。

個別目標：・リスクとリターンの関係がわかる。・証券投資におけるリスクを理解できる。

- ・債券と株式における違いを理解できる。・投資信託の種類がわかる。
- ・成長産業について理解できる。

■ 履修条件

金融業界に興味のある者。1クラス50名以内とし、これを超える場合は成績等を勘案し選抜する。事前のガイダンスに出席し、後学期の「証券投資シミュレーション」を併せて履修すること。

■ 評価基準・方法

授業への取り組み（40%）及び筆記試験の結果（60%）に基づき総合的に評価する。

■ 教科書

特になし

■ 参考書

「入門証券論 第3版」榊原茂樹、城下賢吾、姜喜永、福田司文、岡村秀夫 著/有斐閣コンパクト

■ 授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：ガイダンス 事前学修 2.0hr：講義概要を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：第1回目授業の復習
2 回	授業内容：どう読む？ 経済情報 事前学修 2.0hr：経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第2回目授業の復習
3 回	授業内容：よくわかる債券 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第3回目授業の復習
4 回	授業内容：株式に詳しくなろう 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第4回目授業の復習
5 回	授業内容：証券投資シミュレーションとは 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第5回目授業の復習
6 回	授業内容：いまさら聞けない、為替のいろは 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第6回目授業の復習
7 回	授業内容：投資信託って何？ 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第7回目授業の復習
8 回	授業内容：リスク&リターンとポートフォリオの考え方 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第8回目授業の復習
9 回	授業内容：これからの成長産業 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第9回目授業の復習
10 回	授業内容：投資家心理を学ぶ 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第10回目授業の復習
11 回	授業内容：ライフプランと資産形成 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第11回目授業の復習
12 回	授業内容：公的年金制度について 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第12回目授業の復習
13 回	授業内容：確定拠出年金（DC）について 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第13回目授業の復習
14 回	授業内容：DC ポートフォリオの作成 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第14回目授業の復習
15 回	授業内容：マネープランの作成 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第1～15回目授業の復習

証券投資シミュレーション

開講学科等：日英中経不 HT | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：野村証券ファイナンスプログラム

新井 啓 (あらい けい)

■ 授業の概要

経済や金融の教科書のなかの知識だけでは身につけることのできない、生(ナマ)の経済にふれ、コンピューターシミュレーションを通じて証券投資の実際について学ぶ。学ぶというよりは、自ら行動し、学び、考え、それをレポートにまとめることを目標としています。中・高・大学生のための株式学習のために設けられたコンテスト「日経 STOCK リーグ」に参加して、ポートフォリオ作成についての最終レポートをグループワークで作成します。

■ 到達目標

一般目標：「あなたは自分の資産をきちんと運用できますか？」この問いに答えを出すのが一つの目標です。また、株式投資を学ぶということは企業を学ぶということです。「あなたは企業を評価できますか？」という問いに対して「はい、もちろんです！」と答えられるようになることもこの講義の到達目標です。講義を通して、社会に出て困らないファイナンシャル・リテラシーを身に付けて下さい。

個別目標：株式ポートフォリオの作成方法を実践的に理解できる。グループ学習による討論で株式の銘柄選択のやり方を理解できる。実際に資産を運用する際に必要な事柄を理解できる。

■ 履修条件

前学期に「資本市場の役割と証券投資」を履修し、日経 STOCK リーグに参加登録しなければならない。

■ 評価基準・方法

レポート(日経 STOCK リーグに提出するレポートと共通)の評価 60%と、毎回のグループワークの進捗度 40%に基づき総合的に評価する。

■ 教科書

使用しない。

■ 参考書

講義時に指定します。

■ 授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：ガイダンス・投資テーマを考える 事前学修 2.0hr：講義概要を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：第 1 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること
2 回	授業内容：株式売買の基礎知識 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること 事後学修 2.0hr：第 2 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること
3 回	授業内容：ニュースと株価の関係 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること 事後学修 2.0hr：第 3 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること
4 回	授業内容：決算短信で業績を知る 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること 事後学修 2.0hr：第 4 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること
5 回	授業内容：ファンダメンタルズ分析 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること 事後学修 2.0hr：第 5 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること
6 回	授業内容：銘柄選択の方法 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること 事後学修 2.0hr：第 6 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること
7 回	授業内容：株価チャートの見方 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること 事後学修 2.0hr：第 7 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること
8 回	授業内容：テクニカル分析 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること 事後学修 2.0hr：第 8 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること
9 回	授業内容：さまざまな金融商品知識場 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること 事後学修 2.0hr：第 9 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること
10 回	授業内容：株価に影響する代表的な経済統計について 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること 事後学修 2.0hr：第 10 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること
11 回	授業内容：リスクとリターンとポートフォリオ 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること 事後学修 2.0hr：第 11 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること
12 回	授業内容：負けない運用のためのルール作り 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること 事後学修 2.0hr：第 12 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること
13 回	授業内容：情報収集の手段 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること 事後学修 2.0hr：第 13 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること
14 回	授業内容：プレゼンテーション「私達の投資アイデアとポートフォリオ」 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること 事後学修 2.0hr：第 14 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること
15 回	授業内容：実際の資産運用で気をつけることは何か 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること 事後学修 2.0hr：第 15 回目授業の復習と各自の注目企業の株価動向やニュース等を新聞等の媒体で確認すること

口腔保健学概論

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

金久 弥生 (かねひさ やよい) ・宮澤 慶 (みやざわ けい)

■ 授業の概要

歯科衛生士は、歯科疾患の予防処置、歯科診療補助および歯科保健指導を主な業務とする専門職であり、保健・医療・福祉に幅広く関わる職種であることを理解するとともに、論理的思考、医療倫理、医療安全管理およびチーム医療等について教授する。また、歯科衛生士が業務を実践する歯科臨床の見学等により、歯科衛生士は口腔の健康を通じて全身の健康を保持・増進する職業であることを自覚するとともに、自身が目標とする歯科衛生士像を明確化し、能動的に立案した学修目標にもとづく学修計画にしたがって自らの理想とする歯科衛生士像をつくりあげる。

■ 到達目標（ディプロマ・ポリシー：②/④）

一般目標：口腔保健の専門家としてのマインドや職業倫理を理解し、国内外における対象者の健康に寄与するために必要な基本的知識・態度、専門的技術を学修する。

個別目標：・ 歯科衛生士の概要を説明できる
・ 歯科衛生士の業務を説明できる
・ 歯科衛生士業務の進め方を説明できる
・ 医療倫理について説明できる
・ 医療安全について説明できる
・ チーム医療について説明できる
・ 歯科衛生士の社会的役割について理解する

■ 履修条件

口腔保健学および歯科衛生士の専門性について初めて学習する科目であるため、遅刻・欠席をしないよう体調管理に務めること

■ 評価基準・方法

定期試験 50 %、レポートおよび学修内容振り返りシート 10 %、講義態度および発言等 40 %の結果及び到達目標の達成度にもとづき総合的に評価する
また、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。

■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科衛生学概論」医歯薬出版株式会社 2012 年

■ 参考書

必要に応じて講義内で紹介する

■ 授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：ガイダンス、口腔保健学とは、歯科衛生士の歴史 事前学修 1.0hr：教科書 1 章①②を読み、歯科衛生学とはについて学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容振り返りシートを記入する
2 回	授業内容：医療および歯科医療と歯科衛生の背景、海外における歯科衛生士 事前学修 1.0hr：教科書 2 章①②、8 章を読み、歯科衛生士の誕生と経緯、歯科衛生の背景、海外における歯科衛生士について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容振り返りシートを記入する
3 回	授業内容：歯科衛生士法と業務、役割と展望 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 2 章③④を読み、業務の現状、役割と展望について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容振り返りシートを記入する
4 回	授業内容：EBM(Evidence Based Medicine)：資料検索等の図書館ガイダンス 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、次回講義資料について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容振り返りシートを記入する
5 回	授業内容：歯科衛生活動のための理論Ⅰ：予防の概念 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 3 章①を読み、予防の概念について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容振り返りシートを記入する
6 回	授業内容：歯科衛生士業務の現状（専門領域） 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 2 章③、7 章②を読み、業務の現状、歯科衛生士の活動の場について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容振り返りシートを記入する
7 回	授業内容：歯科衛生活動のための理論Ⅱ：歯科衛生の考え方-科学的思考- 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 3 章②を読み、歯科衛生の考え方-科学的思考-について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容振り返りシートを記入する
8 回	授業内容：歯科衛生士と安全管理 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 5 章④を読み、安全管理について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容振り返りシートを記入する
9 回	授業内容：歯科衛生士と医療倫理Ⅰ：倫理の必要性、医の倫理と患者の権利、歯科衛生と倫理 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 6 章①②③を読み、倫理の必要性、医の倫理と患者の権利、歯科衛生と倫理について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容振り返りシートを記入する
10 回	授業内容：歯科衛生士と医療倫理Ⅱ：自己決定権の尊重、インフォームドコンセント、倫理の適応 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 6 章④⑤⑥を読み、自己決定権の尊重、インフォームドコンセント、倫理の適応について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容振り返りシートを記入する
11 回	授業内容：歯科衛生士業務の役割と展望（ライフステージ） 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 2 章③、7 章②を読み、業務の現状、歯科衛生士の活動の場について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容振り返りシートを記入する
12 回	授業内容：歯科衛生士業務の役割と展望（生活・療養環境） 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 2 章③、7 章②を読み、業務の現状、歯科衛生士の活動の場について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容振り返りシートを記入する
13 回	授業内容：歯科衛生活動の場：歯科診療所、歯科関連企業 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 7 章②を読み、歯科衛生活動の場について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容振り返りシートを記入する
14 回	授業内容：歯科衛生活動の場：行政機関 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 7 章②を読み、歯科衛生活動の場について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容振り返りシートを記入する
15 回	授業内容：歯科衛生活動の現状と組織：歯科衛生研究 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 7 章を読み、歯科衛生活動の現状について学習しておく 事後学修 1.5hr：学習内容振り返りシートを記入する

歯科診療補助論 I

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

奥村 泰彦 (おくむら やすひこ) ・星合 愛子 (ほしあい あいこ)

■ 授業の概要

歯科衛生士の三大業務の一つである歯科診療補助を行うために必要な基本的知識を学ぶ。
安全な歯科医療を提供するために必要な歯科医療安全管理や院内感染予防対策の方法を学ぶ。
また、スタンダードプリコーションを基本とした感染予防対策について理解を深める。
歯科診療の安全性の確保と効率化のために共同動作の概念を学ぶ。
歯科診療で用いられる歯科材料の材料学的特性や取り扱い方法、生体への影響などを学ぶ。

■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②)

一般目標：専門的な歯科診療補助のために必要な基礎的知識、態度を習得する。
歯科診療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を習得する。
個別目標：1. 歯科診療補助の業務内容を説明できる。 4. 共同動作の概念を説明できる。
2. 医療安全の概念とその対策を説明できる。 5. 歯科診療室で行われる画像検査を説明できる。
3. 滅菌と消毒の定義を説明できる。 6. 歯科用各種材料・薬品の取り扱いを説明できる。

■ 履修条件

特になし

■ 評価基準・方法

定期試験 60 %、レポート 20 %、ポートフォリオ 10 %、授業における学習態度 10 %を加味した総合的評価を行う。

■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第2版」医歯薬出版株式会社 2019 年
全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科機器」医歯薬出版株式会社 2019 年
歯科衛生士講座 歯科放射線学 永末書店

■ 参考書

必要に応じて授業で紹介する

■ 授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：歯科診療補助の概念 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 1 章① 診療補助の概念について事前に学習をする。 事後学修 1.0hr：診療補助の法的な変化についてポートフォリオのための資料を作成する。
2 回	授業内容：医療安全 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 2 章① 医療安全について事前に学習をする。 事後学修 1.0hr：医療安全についてポートフォリオのための資料を作成する。
3 回	授業内容：標準予防策 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 2 章② 感染予防について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：標準予防策についてポートフォリオのための資料を作成する。
4 回	授業内容：感染予防対策 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 2 章② 歯科における感染予防策について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：感染予防対策についてポートフォリオのための資料を作成する。
5 回	授業内容：滅菌と消毒/医療廃棄物 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 2 章② 滅菌と消毒について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：滅菌と消毒法についてポートフォリオのための資料を作成する。
6 回	授業内容：診療室の基礎知識 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 3 章① 歯科診療の基礎知識について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：診療室の環境・構造・設備・歯科用チェアユニットについてポートフォリオのための資料を作成する。
7 回	授業内容：歯科診療所における受診の流れ/患者対応の基本 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 3 章② 診療室における受診の流れについて事前に学習する。 事後学修 1.0hr：診療室における受診の流れについてポートフォリオのための資料を作成する。
8 回	授業内容：エックス線撮影時の診療補助 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 3 章⑤ 画像検査について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：エックス線撮影時の診療補助についてポートフォリオのための資料を作成する。
9 回	授業内容：口腔内写真撮影 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 3 章⑤ 口腔内写真撮影について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：口腔内写真撮影法についてポートフォリオのための資料を作成する。
10 回	授業内容：共同動作 (ポジショニング・ライティング・フォーハンデッドデンティストリー) 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 3 章③ 共同動作の概念について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：術者・補助者・患者のポジショニングについてポートフォリオのための資料を作成する。
11 回	授業内容：共同動作 (器具の受け渡し・バキューム・スリーウェイシリンジテクニック) 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 3 章③ 器具の受け渡し・バキューム・スリーウェイシリンジテクニックについて事前に学習する。 事後学修 1.0hr：器具の受け渡し・バキューム・スリーウェイシリンジテクニックについてポートフォリオのための資料を作成する。
12 回	授業内容：印象材の基礎知識 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 5 章① 基礎知識について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：印象材の取扱法についてポートフォリオのための資料を作成する。
13 回	授業内容：歯科用石膏の基礎知識 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 5 章② 歯科用石膏について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：歯科用石膏についてポートフォリオのための資料を作成する。
14 回	授業内容：印象採得 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 5 章① 概形印象採得について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：印象採得についてポートフォリオのための資料を作成する。
15 回	授業内容：まとめ 事前学修 0.5hr：教科書全般の再学習を行う。 事後学修 1.0hr：全てのポートフォリオ資料をまとめる。